

空気のおいしい家

●はじめに

今年の夏から、小澤建築工房の情報誌を発行します。春夏秋冬、年4回の季刊誌です。皆様にいろいろな情報を発信します。現在、2010年8月の新築現場は、山宮Y邸、昭和O邸、甲斐市F邸、大泉Z邸です。

昭和新築現場は9月上旬に建物見学会の予定です。

昭和町家。詳細が決まりましたら随時、報告いたします。おたのしみに。

私たちの建物見学会は、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、モデルハウスではなく、実際にお客様がお使いになる建物をお借りして行います。できるだけ多くの見学会をさせていただき、建物や町並みまでデザインした作品をみていただき、皆様と一緒に家づくりができればと思います。展示場の大きすぎる家ではなく、一件ごとにお客様に住みやすい、使いやすい居心地の良い家を設計施工しています。

超長期優良住宅建築中 第2回構造見学会計画 場所：山宮



●長期優良住宅の基本的な考え方

長期優良住宅の認定基準が提示された今、先導的モデルが担うべき役割は、ストック型社会の実現にむけて、長期優良住宅の安定供給と持続性の確保、そして「いいものをつくり、きちんと手入れして長く大切に使う」という考え方のさらなる普及啓蒙にあると考えます。建物の長寿命化を計ることは当然のこととして、長期優良住宅がこれからの住宅ストックとして定着、社会資産として長く大切につかわれるためにはその継続性・持続性が大切と考えます。

●OZ-STOCKer's



オンリーワンポスト
既製品のポストにガラスの庇
ネームプレート
杉の柱に取付けました。



雨水利用
コンクリート樹の水槽です壁樋にバココン(手動で雨水を取り出しができる)既存の樋に取付けできます。夏らしいですね。

●メンテナンス あれこれ

10年という一つの節目は、次の10年を見据え、これからの暮らしを考えた時にとても重要な意味を持つてくるのだと思います。家を建てた年代にもよりますが時代の変化・子供の成長・暮らしの変容などがあり、住まいという器と暮らしの中身にずれが生じることも多々あります。不具合の修理や壊れたパーツの交換だけでなく、次の10年の心地よい暮らしのために、どこに手を入れていくのか、予防的なことも含めて何をすればいいのかなど、と一緒に考えられたらと感じています。すでに子供たちの世代に住み継がれている家も存在し、ハード面のみならずソフト面での相談の対応にも力を入れていきたいと思っています。歳月を重ねる中で家族の変化を受け止め、心地よい暮らしが続けられるよう、いつまでも皆様の良きパートナーでありたいと願っています。



before



after

●家族の成長とともに

当時はまだ小さかった子供たちも成長し、そろそろ個室が必要な時期になってきました。ワンルームでつくった子供室、今回は壁で間仕切りをつくり、2部屋にする工事を行いました。子供室に関する考え方は、それぞれの家庭で様々。今回のように壁でしっかり仕切ることもあれば可動式の家具で空間を分ける程度に、緩やかに仕切ることもあります。何が正解ということではないと思うのですが、いずれ家族の成長とともに、住まいも成長していくものだと思います増築や改修工事など、お考えのことがありましたらお気軽にご相談ください。

●10月のイベント予定

OMソーラーの考案者でもある、東京藝術大学名誉教授奥村昭男先生の別荘と奥村家具工房、木曾檜の見学会を計画しています。

詳しくは、webで! URL <http://ozawa-standard.jp>

●小さな家 4x8

この建物は設備も充実したセカンドハウスです。全体予算900万円以内という条件下で、いかにコストを削減できるか徹底的に挑戦しました。最初の打合せで「9坪の家」が計画のスタートでした。外壁仕上は構造用合板に押縁止め、1階の床は唐松の床材、内壁は構造用合板サンダー仕上、内部天井はネダレス合板表し。窓は、断熱サッシと同じくらしい予算内におさまりました。照明は、できるだけ少なく、足りない部分はスタンドで補う、壁の断熱材は、寒冷地の仕様以上にしています。暖房は、ダッチウエスト社の薪ストーブ。キッチン、ステンレス天板に足元は開放スペース。2階はごろ寝のできるように1フロアにしました。屋根に上りたいとの要望から、屋根にデッキをつけ、ロフトから出入りできるようにしました。木造すっぴん仕上げですが、細部まで気配りをしました。大変興味深い面白い建物です。



7月完成

●スタッフ あれこれ

白州の山の中に小さな家が建ちました。建坪は14.5坪だけど、家の中に入ると結構広い感じがします。みんなで協力しあい、短期間で工事も終わりお施主様にもよこんでいただきました。秋山
外壁は合板の上に、杉の押し縁で仕上げます。塗装はVATONを使用しています。塗装を塗り終わると合板とは思えないほどきれいに仕上がりました。工夫次第で家の雰囲気がかわってきます。たか☆ひろ

今回は、秋 vol2 10月です。これからもよろしくお願ひ致します。

〒400-0061 山梨県甲府市荒川12-6-37
tel 055-251-1117 fax 0551-251-1119
e-mail:oz-standard@cotton.ocn.ne.jp

株式会社 小澤建築工房
URL <http://ozawa-standard.jp>

OZAWA
STANDARD